

平成 26 年改定に向けた「中間とりまとめ」の総会への報告結果を踏まえた

追加の検討事項について

[概要]

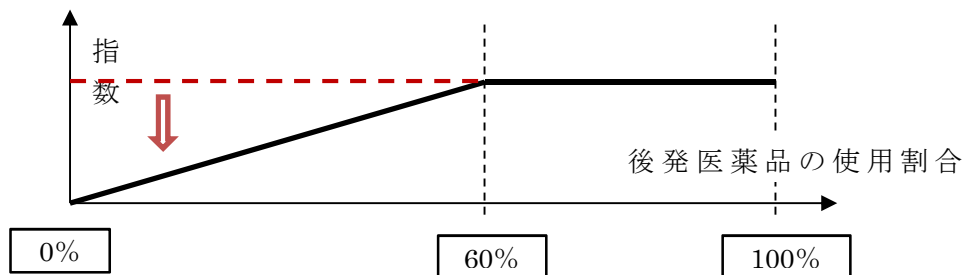
- 平成 25 年 12 月 13 日の中医協総会において、平成 26 年改定にかかる DPC 制度の対応についての検討結果「中間とりまとめ」が報告され、概ね了承された。
- 総会においてさらなる検討が必要であると指摘された事項について、DPC 評価分科会において再度追加の検討を行う。

1. 「後発医薬品指数」の評価上限の設定のあり方について

- 総会における議論において、「後発医薬品指数」を新設することについて了承されたが、後発医薬品指数で評価上限を設定することの妥当性については再度 DPC 評価分科会において議論することとなった。

【案 1】 目標値に達していない医療機関を減点する考え方

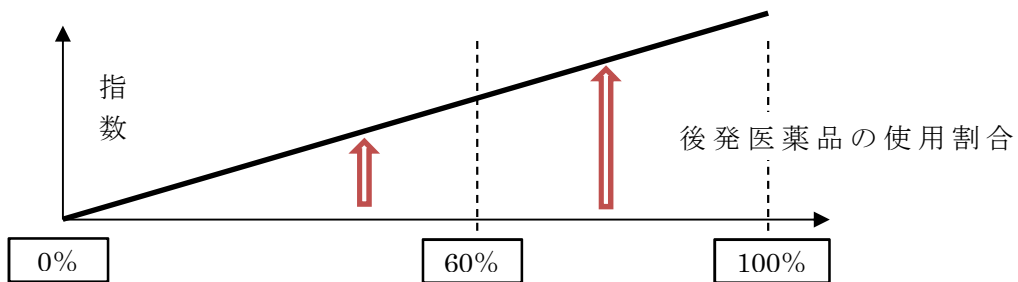
[評価のイメージ]



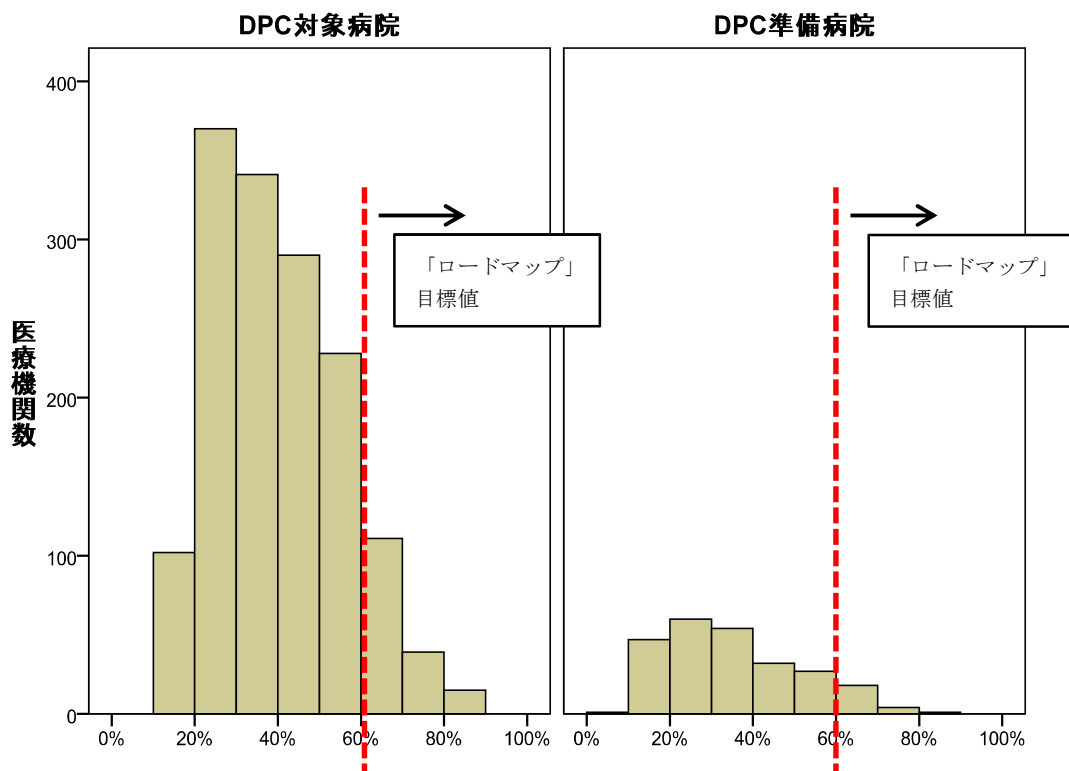
- 平成 25 年 4 月 5 日に「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」が示され、平成 30 年 3 月末までに新たな後発品使用割合の 60%（新指標）を目標とすることとされた。
- DPC 対象病院は、DPC/PDPS が包括支払いであることによって後発医薬品の使用が促進されることが期待されているが、入院医療で使用される薬剤について後発医薬品の使用割合の平均値は 37.2%（平成 24 年度データ）であり、目標値である 60%を達成していない医療機関の割合は約 90%となっている。
- 【案 1】は、各医療機関の後発医薬品の使用割合が目標値に到達していない度合いに応じて減点するという考え方であり、特に後発医薬品の使用が進んでいない医療機関に対し、後発医薬品の使用の取組みを促す考え方である。

【案2】後発医薬品の使用割合に応じて加算する考え方（評価上限を設定しない）

〔評価のイメージ〕



- 後発医薬品の使用割合に応じて直接的に指数を加算していく考え方であり、目標値である60%（新指標）を達成している医療機関においても、目標値以上の後発医薬品の使用が評価されるが、DPC 包括評価によるインセンティブと二重のインセンティブになるという指摘がありうる。



〔論点〕

- 「後発医薬品指数」の評価方法についてどのように考えるか。

2. 3日以内再入院ルールの見直しに係る上2桁コード（MDC：主要診断群）による一連の判定について

- 一連と見なすルールの適用対象を、現在の「同一病名」（DPCの6ケタ目まで共通）から、「同一診療科の疾患」（2ケタ目まで共通）に拡大することの妥当性について再度検討することとされた。
- 上2桁で同一疾患と見なすことの妥当性について検討するため、一連と見なす基準を上6桁コードから上2桁コードに変更した場合に新たに一連と見なされる組み合わせについて集計した。

【図表1】

順位	前回医療資源		今回入院契機		件数
	DPC6桁	DPC6桁名称	DPC6桁	DPC6桁名称	
1	120170	早産、切迫早産	120180	胎児及び胎児付属物の異常	716
2	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	040081	誤嚥性肺炎	698
3	060035	大腸（上行結腸からS状結腸）の悪性腫瘍	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	633
4	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	584
5	060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）	554
6	120170	早産、切迫早産	120260	分娩の異常	548
7	040040	肺の悪性腫瘍	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	530
8	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	479
9	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	060330	胆嚢疾患（胆嚢結石など）	448
10	060040	直腸肛門（直腸・S状結腸から肛門）の悪性腫瘍	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	389
11	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	382
12	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	050170	閉塞性動脈疾患	352

13	040081	誤嚥性肺炎	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	317
14	050130	心不全	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	299
15	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	295
16	060020	胃の悪性腫瘍	060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）	287
17	060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	268
18	040100	喘息	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	267
19	060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	060020	胃の悪性腫瘍	265
20	060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	060035	大腸（上行結腸からS状結腸）の悪性腫瘍	259

- 図表 1 における上位 5 件の組み合わせに関する、前回入院と再入院を一連と見直して良いかについてさらに詳細に検討するため、再入院時の医療資源を最も投入した傷病名の「ICD コード」および「実施手術」について集計を行った。

【図表 2 - 1】

[順位 1 位：120170 早産、切迫早産×120180 胎児及び胎児付属物の異常]
（複数件出現するものに限定して集計）

順位	ICD コード	DPC6 桁名称	件 数	順位	手術 コード	DPC6 桁名称	件 数
1	O420	前期破水、分娩開始が 24 時間未満のもの	98	1	K8981	帝王切開術 緊急帝王切開	136
2	O321	骨盤位のための母体ケア	69	2	K8982	帝王切開術 選択帝王切開	119
3	O421	前期破水、分娩開始が 24 時間以後のもの	66	3	K893	吸引娩出術	76
4	O342	既往手術による子宮瘢痕による母体ケア	61	4	K895	会陰（陰門）切開及び縫合術（分娩時）	35
5	O438	その他の胎盤障害	32	5	K8961	会陰（腔壁）裂創縫合術（分娩時）筋層に及ぶもの	30
6	O365	胎児発育不良のための母体ケ	29	6	K897	頸管裂創縫合術（分娩時）	22

		ア	
7	O701	分娩における第2度会陰裂傷	27
8	O429	前期破水, 詳細不明	23
9	O368	その他の明示された胎児側の問題のための母体ケア	22
10	O680	胎児心拍数異常を合併する分娩	22

7	K902	胎盤用手剥離術	10
8	K9063	子宮頸管縫縮術 縫縮解除術 (チューブ抜去術)	7
9	K901	子宮双手圧迫術(大動脈圧迫術を含む。)	6
10	K8721	子宮筋腫摘出(核出)術 腹式	5

【図表 2 - 2】

[順位 2 位 : 040080 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 × 040081 誤嚥性肺炎]
(複数件出現するものに限定して集計)

順位	ICD-10	DPC6 桁名称	件数
1	J690	食物及び吐物による肺臓炎	661
2	J152	ブドウ球菌による肺炎	5
3	A410	黄色ブドウ球菌による敗血症	3
4	D65	播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]	3
5	I500	うっ血性心不全	2

順位	手術コード	DPC6 桁名称	件数
1	K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術を含む。)	33
2	K6182	中心静脈栄養用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	8
3	K0003	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径10センチメートル以上)	2
4	K0004	創傷処理 筋肉、臓器に達しないもの(長径5センチメートル未満)	2
5	K403-2 3	嚥下機能手術 喉頭気管分離術	2
6	K549	経皮的冠動脈ステント留置術	2

【図表 2 - 3】

[順位 3 位 : 060340 胆管(肝内外)結石、胆管炎 × 060335 胆嚢水腫、胆嚢炎等]
(複数件出現するものに限定して集計)

順位	ICD-10	DPC6 桁名称	件数
1	K801	その他の胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石	360
2	K800	急性胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石	84

順位	手術コード	DPC6 桁名称	件数
1	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	410
2	K672	胆嚢摘出術	50

3	K810	急性胆のう<囊>炎	77
4	K811	慢性胆のう<囊>炎	17
5	K819	胆のう<囊>炎, 詳細不明	15
6	K805	胆管炎又は胆のう<囊>炎を伴わない胆管結石	6
7	D135	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物, 肝外胆管	5
8	K802	胆のう<囊>炎を伴わない胆のう<囊>結石	4
9	C250	膵の悪性新生物, 膵頭部	2
10	K750	肝膿瘍	2

3	K688	内視鏡的胆道ステント留置術	29
4	K681	胆嚢外瘻造設術	28
5	K682-3	内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術(E NBD)	16
6	K6852	内視鏡的胆道結石除去術 その他のもの	13
7	K682-2	経皮的胆管ドレナージ術	12
8	K6871	内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	8
9	K6711	胆管切開結石摘出術(チューブ挿入を含む。)胆嚢摘出を含むもの	6
10	K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル未満	4

【図表 2 - 4】

[順位 4 位 : 060100 小腸大腸の良性疾患 (良性腫瘍を含む。) × 060130 食道、胃、十二指腸、他腸の炎症 (その他良性疾患)]
(複数件出現するものに限定して集計)

順位	ICD-10	DPC6 桁名称	件数
1	K921	メレナ	403
2	T810	処置に合併する出血及び血腫, 他に分類されないもの	80
3	K922	胃腸出血, 詳細不明	28
4	K635	大腸<結腸>のポリープ	9
5	K633	腸潰瘍	8
6	K573	穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	7
7	C187	結腸の悪性新生物, S状結腸	2

順位	手術コード	DPC6 桁名称	件数
1	K722	小腸結腸内視鏡的止血術	372
2	K654	内視鏡的消化管止血術	88
3	K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	2
4	K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル未満	2

8	D128	結腸, 直腸, 肛門及び肛門管の良性新生物, 直腸	2
9	K626	肛門及び直腸の潰瘍	2

【図表 2-5】

[順位 5 位 : 060035 大腸 (上行結腸から S 状結腸) の悪性腫瘍 × 060210 ヘルニアの記載のない腸閉塞]

(複数件出現するものに限って集計)

順位	ICD	DPC6 桁名称	件数
1	K913	術後腸閉塞	273
2	K567	イレウス, 詳細不明	97
3	K565	閉塞を伴う腸癒着 [索条物]	70
4	K566	その他及び詳細不明の腸閉塞	41
5	C187	結腸の悪性新生物, S 状結腸	32
6	K560	麻痺性イレウス	16
7	C182	結腸の悪性新生物, 上行結腸	14
8	C184	結腸の悪性新生物, 横行結腸	10
9	C786	後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物	10
10	T818	処置のその他の合併症, 他に分類されないもの	8

順位	手術コード	DPC6 桁名称	件数
1	K714	腸管癒着症手術	33
2	K735-2	小腸・結腸狭窄部拡張術 (内視鏡によるもの)	15
3	K726	人工肛門造設術	14
4	K7193	結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	11
5	K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	10
6	K714-2	腹腔鏡下腸管癒着剥離術	10
7	K7161	小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	9
8	K724	腸吻合術	8
9	K735-4	下部消化管ステント留置術	5
10	K6182	中心静脈栄養用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	4

- 以上の集計結果より、再入院時の医療資源を最も投入した病名は、前回入院の最も医療資源を投入した病名と関連があり、一連の入院と見なして差し支えないと考えられる。

[論点]

- 同一病名の判断基準を、「上6桁コード」から「上2桁コード（MDC：主要診断群）」に変更することの妥当性についてどのように考えるか。